









OLYMPIC AMIER GAMES SAPPORO 772

白い感動のドラマ!!

雪と氷の祭典の栄光は永遠に……

XI OLYMPIC WINTER GAMES SAPPORO'72









●ヘリコプターによる聖火輸送



●開会式

第11回札幌オリンピックは2月3日 真駒内スピードスケート場で華やか に幕をあけた。参加国35ヵ国、1.128 人の各国選手が一堂に集まり、華麗 なファンファーレが北の空に鳴りわ たった。

●選手団入場行道



●五輪旗入場



●天皇陛下の開会宣言





●聖火入場。汁村嬢から高田君へ



●バックスタンドの聖火台に点火!!



開会式式典の予行



●日本飛行隊、メダル独占!! 70 m級ジャンプ



●日本に初の金メダルをもたらした笠谷選手の完壁なアーチ





●90 m ジャンプで日本勢は敗退、ポーランドの 新鋭フォルトナが優勝をさらった



●宿敵モルクに肩車の祝福をうける笠谷幸生選手

●メダルを胸に、熱狂する観衆の祝福にこたえる笠谷、金野、青地、の各メダリスト





●沸きに沸いた2万の観衆は、フエンスをのり越え、日本トリオに惜しみない拍手をおくった。この日の空は澄み切った日本晴れ、まさに日本デーであった。



●ジャンプ競技場整備

●支笏湖にむかってのさか落し、滑降競技はスイス旋風が吹き荒れた





●輸送万事OK、ジープ点検



●恵庭岳滑降コース作り









●回転競技場雪踏み



●ヘリコプターによる患者輸送



●距離競技は体力がものを言う狐独なスポーツだ。予想通りソ連・北欧勢が圧倒的な強みをみせてメダルをさらった



●肉体的に全く相反する要素を組み合わせた バイアスロン競技

●距離競技コース作り



●吹雪の中でのバイアスロン競技場作り







●女子スピードスケート500 ™。ニアミスというアクシデントにかかわらずアメリカのアン・ ヘニングが好タイムで優勝。写真は4位のヤング(米)

●フイギュアスケート一位の ベアトリクス・シューバ (オーストリア)



●みごとなコンビネーションと流麗な演技で金メダルに輝く

. .

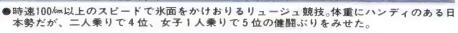




●氷の壁を猛スピードで滑走する豪快なボブスレー競技はやはり西欧勢の独壇場!









●手稲山リュージュコース





●激突!!



●鉄の壁は厚かった!!ソ連優勝



●11日間にわたってくりひろげられた若人の熱戦がすべて終り、いまはどの顔もなごやかな微笑を交して……幕はおりていく。



●舞い落ちる雪の中に、燃えつづけた聖火はいま静かに太陽え還る。



●サヨナラ…デンバーでまたあいましよう。





●札幌オリンピックの別れを告げる五色の花火



●旺盛な食欲をみせる各国選手たち。



●白夜?にうかぶ真駒内オリンピック村。



●なごやかな各国選手たちの交歓風景。



●オリンピック村給食作業



●札幌オリンピック支援集団西田団長を先頭に結団式



●電話交換も手順よく



●オリンピック村開村式の予行



●オリンピック村開村式の予行



第11回札幌オリンピック冬季大会記録

ジャンプ	大回転			ュア スケート	
70 m 級	79) 234・8 ■マッテル (スイス 50) 229・5 ⑥市村 政美 [日	ス, 本楽器,	3・10・75 3・10・99 3・15・34 3・17・23		9 程点2739 · 1 20 2672 · 4 28 2653 · 1 140 2309 · 7
90 m 級 ■ポイチェフ・フォルトナ(ポーラント) (1 本目最長不倒 111 m, 2 ●シュタイナ - (スイス) (94, ■R・ン;ミット(東ドイツ) (98 * 50, 「対称、桑牡(ニュカウキスキー) (106.	女子 219・9点 本目87 **50) 103) 219・8 101) 219・3 ・ ドレフセル・オート ・ の由ませんによった。		女子 1 分29秒90 1 - 30 - 75 3 リン 本	7ス・ショ バ オ ストリア/席次 - カナダ:	数9 得点2751 · 5 23 2673 · 2 27 2663 · 1 93 · 2449 · 9
複 合 ●ウルリッヒ・ウェ・リング (東ドイツ) (③飛躍200・9、③酷 ●ミエチネン (フィンフンド) (②210・0、)	413・340点 #212・440; 405・505 (到95・505)		●ス、ルノロ ●クロス、1 09に沢琴札 1・50・28 1・50・30 アイス:	1 ニナ、アレクセイ・ウラノウ 塩 大数 2、スライキン リ連。 カーゲルマン 東トイノ) 支 日人 - 長久保裕 日人OB	12 得点 420 · 4 15 419 · 4 29 = 411 · 8
●ルック (東ドイツ) ⑤勝呂 裕司 (日軽金) ③中野 秀樹、早大。	398 · 800 D 220 · 000) 390 · 200 B 195 · 100) 375 · 055 女子	仏貿易:	1 · 54 · 83 1 · 56 · 61		4 勝 1 分 3 勝 2 敗 3 勝 2 敗 2 勝 1 分 1 敗
距 離 男子15km	● 104・3037 ● スソーレ (フラン (リ) 日 時 連 美子 ア (1) 日 時 連 は る 占 人	・ランス ス こンアスキ : 東文化人	1・31・26 1・32・69 1・39・53 1・40・67) 3 チンメン 、ウツレュナイタ	1 分57秒07 4 · 58 · 84
● ノマショフ (ソ連) ● フォルモ (ノルウェー) 	46・0・84 46・2・68 49・6・97 49・38・95	ー(西ドイツ) ーデン)	☆ 39秒44 ☆ 39·69 ☆ 39·80	(ノロ - 、バ・ヴ・ ウィッキ、フ・ハ・ハ・) - (刺家進 - 北海道(1所、阿部 - 税 -) (ウィッキ、ロイテンエガー、カミ	ユタカ戸業 5・6・59 シェル、2 バッ
●チルドム (ノルウェー)●ハルビケン (ノルウェー)② 公計② とは とは とは とは とは とは とは と	第36分31秒15 - 37 - 25 - 30 - 37 - 32 - 44 - 42 - 30 - 83 - 45 - 37 - 13 ・ 50 mm 降行(三 男子1,500 mm) かった。 フェンク のアレンエル フェンク	(* 5 × 7) ÷	ン) ⑤ 西ドイツル ウツシュー 2 分 2 秒 96 2 · 4 · 26	▲(デゾルド、フラッシネリ、ダル ▲(チンメラー、ガイスライター、シ トイダー) (江刺家遊=北海道日産、阿部・視= 東崎根、市橋舎行=札幌ブリンスホテ)	4・13・83 ュタインハウア・ 4・13・92 ニユタカ産業、佐藤
●ボール・チルドム (ノルウェー 2時)●ミルモ (ノルウェー 2●ヘデニン (ソ連: 2	#43分14P75 +43・29・45 +44・0・19 -57・42・62 男子5,000 m	(人)	2·11·96 2·11·96 リュージ 男子1	ジュ	3 0F27 AVS
●ソ 連 ② / ルウェ 2 時 ③ ス イ ス 2	開 4 分47秒94 ・ 4 ・57・06 ・ 7 ・ 0 ・06 ・ 13・59・14	ウェー, ウェ 大, 大,	7 · 28 · 18 7 · 33 · 39 7 · 45 · 96 7 · 56 · 97 20古田	東 イノ 7 東トイノ † 登 直警 山明 直警	3 + 28 + 39 3 + 28 + 73 3 + 33 + 81 5 + 34 + 99
•	17分 0 称50	ウェ・・ ウェ・	15分 1 較35 15・4・70 15・7・08 15・48・17 (分別 理 明	人乗り かいもいいのテルグライクおい イタリケンタイン、ラインへいたロン 東イイフ、フィン・ロー 東イイフ、フィーコーナー 東イイリストロ - 小林政敏 東洋電機 F、市川和明 道覧	1 + 28 + 35 1 + 29 + 16 1 + 29 + 63
	34分17科82 34・54・11 34・56・15 36・33・84 38・7・24 9チトロ・ソ連 ②介野沢良子	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	☆ 41・45	人乗り リア・、エァ 東、イノ ト・東トイノ 東トイノ 「エルムツ インラ 貸手 地嶋組	2 9/59#418 2 - 59 - 49 2 - 59 - 54 3 - 0 - 98 5 - 4 - 45
ッ ・	18分46枠15 49・19・37 49・51・49 53・20・75 サニカ・アル ク サレンテルストラ のヘーク 米別 便用口恵美子・第	r (両トイノ) - 合 ウ オランダ: - 合 合 会	1・34・40 0 7 ナウェ	・ソルベリー / ルウェ 東トイフ	1 時間15分55秒50 1 ・ 16 ・ 7 ・ 60
男子 ●ヘーンハルト・ルッン(スイス) ● 1 ロンバン スイス) ● 2 ステー(オ ストリア ②高井 沙博 目人)	日 から1 から1 から1 から1 から1 から1 から1 から2 ・ 67	、 末国: 会 ・タ 会 ウィオランタ 会	2 分20秒85 2・21・05 2・22・05		1 · 16 · 27 · 03 1 · 21 · 67 · 27 1 · 23 · 5 · 54 1 時間51分44科92
◎大秋 正彦 (アサント女子●マリーテレーセ・ナディモ スイス	①小他 里美 ① ① 小他 里美 ② ② 小他 里美 ② ② 女子3,000 m ② スチ ン・カイサ	:協精機) 川路三ツ輪) -	2・25・16 2・28・19	× F	1 · 54 · 37 · 25 1 · 54 · 57 · 67 1 · 59 · 9 · 18
 プレル、オーストーア コロノク 米国 ②商雲美津代 西沢スキ ③月桐 美雪 小賀坂スキ 	1・37・00 1・37・68 1・43・07 1・44・10 1・排出からの	(協精機)	4 · 58 · 67 4 · 59 · 91 5 · 9 · 21 5 · 17 · 30	☆=オリン	ピック新記録



●古代オリンピック発祥の地、ギリシヤのオリンピアで行われた採火式に、巫女として太陽の火を採火したモショリューさんが、聖火の終着地サッポロを訪れた。(写真は聖火歓迎式にのぞむ、マリア・モショリューさん)

札幌オリンピック芸術参加・大雪像制作の記録

大雪像《ガリバーようこそ札幌へ》

札幌オリンピック芸術参加

「ガリバーようこそ札幌へ」の大雪像は、

第11戦車大隊長

岩崎普2等陸佐の統卒のもと、

雪量5.300トン、

制作日数58日、

制作隊員延2.497名を動員して

高さ25mの世界一の

大雪像が完成されました。

オリンピック史上初めて、

オリンピック会場に大雪像が飾られ、

国内外の観客から

賞讃のことばがおくられ、

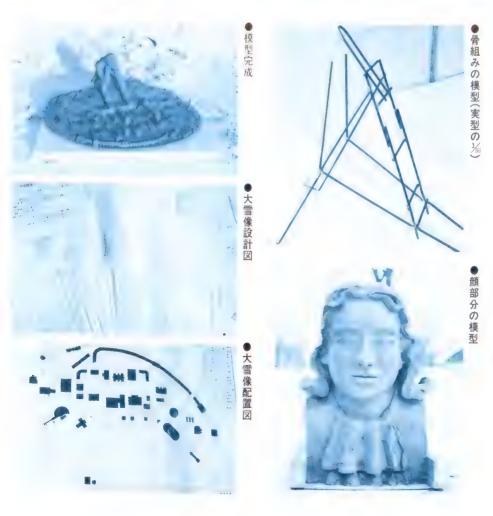
札幌オリンピックの

成功に華をそえました。





●粘土による模型づくり







●現地測量



●資材搬入



●骨組作業(電柱30本使用)

















●スノーローダによる雪積み

●ブルドーザーによる 雪積み



●雪積み(人海作戦)

●雪積み



●雪運搬(4.500 /)



●足場組立て(鉄パイプ 3.000本使用)



●雪積み











●NBC(U・S・A)報道班の取材

●クレーンと創作器材による雪積み









●深夜作業







●最初の慰問に喜ぶ隊員



●慰問グループの記念撮影 (札幌市婦人団体連絡協議会・レクリェーション部)



●パネルはずし



●命綱も引きしまる荒削り



●スノーダンプによる雪運搬





●荒削り(彫刻開始)



青木第11師団長作業状況視察











●荒削りも大詰めに



●整 地





●命綱も引きしまる荒削り



●附属小雷像制作





●ご苦労さま……・慰問







●徹夜作業(氷点下20°)



●猛吹雪の中での突貫作業



●雪像制作隊長も制作に熱中





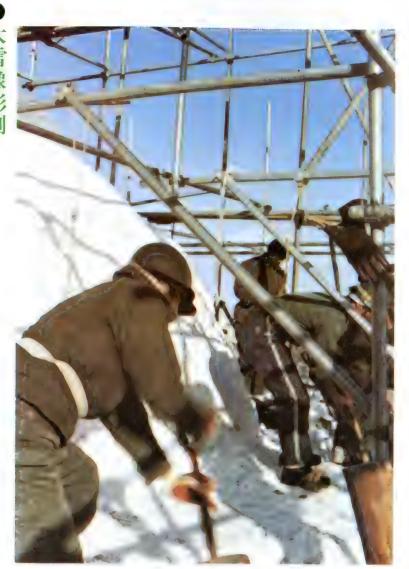
●彫刻たけなわ



●着々進行する彫刻















●大雪像彫刻



●仕上げ(化粧雪張り)





















●視察

● 最後の仕上げ



生命をかけ、精魂を傾注して制作に熱中した隊員の愛情に育ぐくまれ成長したガリバーの姿は、純白の広場に大理石のごとく輝やき、澄み切った青空に一きわ美しく、最後の仕上げも慎重に進んでゆく。









●斉藤北部方面総監



●感謝状の贈呈(小塩助役から大雪像制作隊長へ)







● 完成

●大雪像制作関係者記念撮影

●感無量…乾杯.!!



●岩崎制作隊長を胴上げしてよろこぶ隊員たち



●大雪像完成を祝ってのアトラクション(北海自衛太鼓)



●アトラクション(11師団音楽隊)



●国内外の観客で賑わう会場





●ガリバーの大雪像前でよろこぶ幼稚園児たち

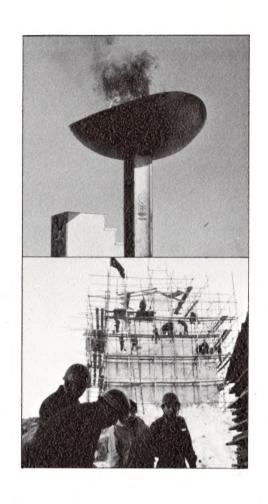




●記念撮影(大雪像制作専従隊員)

●大雪像完成の大役を果して固い握手





あとがき

この写真集は、札幌オリンピックの大成功の陰でご活躍された方々のご苦労を慰さめたいという、小さな善意が発端で多くの市民の善意の輪が広がり、数多くの温かいご協力によって制作されたものであります。

第11回冬季オリンピック札幌大会は、1972年(昭和47年) 2月3日~13日の11日間、世界の人々を歓喜と感動のうち に、百万都市札幌において開催されました。

この感動の陰には、札幌オリンピックの成功を胆に銘じ 厳寒の地の風雪に耐え、黙々として日夜支援業務に精進さ れた。札幌オリンピック支援集団西田秀男団長ほか 3.641 名の隊員のご労苦を忘れることができません。

また、札幌オリンピック芸術参加として、大雪像「ガリバーようこそ札幌へ」が第11戦車大隊(第11師団・真駒内) 岩崎普大隊長ほか300名(延2.497名)の隊員の手によって制作されました。 世界一の巨大と見事な雪の芸術を誇る。この大雪像はオリンピック史上初めて、オリンピック会場に飾られ、第11 回オリンピック冬季大会開会式において全世界のテレビに 放映され、世界の人々を感嘆させました。

オリンピック開催都市の市民として、札幌オリンピックの大成功を心から喜びそして高く誇れることのできるこの陰には、オリンピック支援業務あるいは大雪像制作に、生命をかけ日夜苦労されました数多くの自衛隊員の功績の大きかったことに対し、改めて心から感謝のまことを捧げる次第であります。

この感動を永遠に伝え、札幌の青空のもとに、再び聖火 が赤々と燃えることを希望するものであります。

末筆ながら、重ねて、ご協力、ご指導、ご支援賜わりました皆様方に、心から厚くお礼申し上げます。

XI OLYMPIC WINTER GAMES SAPPORO72

感動

企画

佐々木良一

題字

小川東洲

装幀、レイアウト

平松春雄

写真提供

(株)ユニフオト

(財) 札幌オリンピック冬季大会組織委員会

自衛隊札幌オリンピック支援集団

自衛隊第11戦車大隊

製版

(有)若葉プロセス

1972 · 8 · 26 印刷

1972・9・1 発行

《非壳品》

発行所

札幌オリンピックを讃える会

代表 高谷 俊三

札幌市豊平区豊平3条3丁目 ☎ 821-2747

印刷所

特急印刷株式会社

代表取締役 中山 康雄

本社・工場/札幌市中央区南9条西12丁目 ☎代表561-5555 東京営業所/東京都江東区木場6丁目9番1号☎代表645-6703



